

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築材料											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	佐久間 達也			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学建築学科で助手をしながら実務経験を重ねた後、独立し一級建築士事務所を設立。戸建て住宅、店舗、集合住宅などの設計・監理の業務経験を持つ。											
授業概要											
教科書に沿って講義を進める。また、プリントによる補足を行う。 毎回レポート用紙を一人1枚配布し、授業時間内に書き終了時に回収する。次回に返却する。 サンプルを回覧することもあるため、見たり触ったり匂いを嗅いだりして記憶にとどめるよう留意されたい。											
到達目標											
建築に使われる様々な材料について概要を把握する。 建築材料のなかでも重要な木、コンクリート、鋼材の三つについては重点的に取り組み、理解を深める。											
授業方法											
〈オンデマンド授業。 確認テストを毎回行う。 質疑応答の時間を設け、一方向にならない授業とする。											
成績評価方法											
試験	50%	授業内容の理解度を確認し、評価するために実施する									
小テスト	20%	授業内容の理解を深めるために実施する									
レポート	30%	授業内容の理解を深めるために実施する									
履修上の注意											
配布されたプリントを毎回持ってくること。 講義を聞きながら、同時にメモを取る習慣を身につけること。 出欠状況は各自で記録し管理すること。授業中の私語、理由のない遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
「絵とき建築材料」 著者名：赤石辰夫 他 出版社：オーム社／プリント資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	概要説明 木材				木材の長所・短所と種類について						
第2回	木材				木材の性質、合板・集成材について						
第3回	石材				石材の種類、加工について						
第4回	セメント・コンクリート(1)				セメント、骨材について						
第5回	セメント・コンクリート(2)				コンクリートの長所短所、フレッシュコンクリートの特徴について						

2022年度 日本工学院専門学校		
建築設計科		
建築材料		
第6回	セメント・コンクリート(3)	コンクリートの調合、混和材料について
第7回	セメント・コンクリート(4)	コンクリートの物性、施工と養生について
第8回	コンクリート製品・鋼材	プレキャストコンクリートと鋼材の長所・短所について
第9回	鋼材	鋼材の性質、加工、形状の種類について
第10回	アルミ・ステンレス・タイル	アルミの長所短所、タイルの種類について
第11回	防水・確認テスト対策	防水の種類や構成に関する理解 木材・コンクリート・鋼材の復習
第12回	確認テスト・解説	木材・コンクリート・鋼材の復習（テスト解説）
第13回	ガラス・壁下地材・断熱材・塗料	ガラス種類、石膏ボード、モルタル塗、断熱材種類、塗料種類について
第14回	現代社会と建築材料・期末試験対策	環境と建築、リサイクル、シックハウス、品確法について
第15回	期末試験対策・まとめ	これまでの復習と全体のまとめ